



3月の園だより

令和8年2月25日

杉並区立成田西子供園

園長 齋藤 由美

おおきくなるっていうことは

園長 齋藤 由美

先日、4・5歳の誕生会で、子どもたちに『おおきくなるっていうことは』（中川ひろたか：文・村上康成：絵）という絵本の話をしました。「おおきくなるっていうことは、じぶんのことがじぶんでできるようになること」「ともだちがふえること」「できなかったことができるようになること」温かく心に寄り添う言葉でつづられたこの絵本は、まるで子どもたち一人ひとりの1年間を映しているかのようです。

この1年、園生活の中では、一人ひとりにとっての「大きくなった瞬間」がたくさんありました。

3歳児は、朝お家の方と離れがたくて涙いっぱい登園した日々から、今では「先生おはよう！」と笑顔で走っていくようになりました。身の回りのことが一つ一つ自分でできるようになり、「自分でできた！」という自信を少しずつ積み重ねてきました。先日のこどもかいでは、みんなで一緒にすることを心から楽しんでいました。

4歳児は、年長組から当番の仕事を引き継ぐ喜びと、責任を感じています。「次は自分たちの番だね。」と目を輝かせ、友達と力を合わせて頑張る姿は、とても頼もしく感じます。

5歳児は、もうすぐ1年生。ランドセルの話をしたり、学校の話をしたりしながらワクワクと心を膨らませています。その一方で「できるかな。」「大丈夫かな。」と不安をのぞかせることもあります。期待と不安が入り混じる、今だけの大切な時間です。

ある日「大きくなるってどういうことだと思う？」と、年長組の子どもたちに聞いてみました。すると、「できることを人に教えてあげられる！」「上履きがきつくなる！」「ともだちといっぱい遊べる！」「音楽会でドキドキしても頑張れる！」「うーん、ちょっと考えてからでもいい？」などなど、まっすぐで、温かくて、正直な心の言葉が返ってきました。すぐに答えが出なくても自分で考えてみようとする姿も大きくなったと感じ、その一つ一つに、子どもたちの心の成長を感じ、胸がいっぱいになりました。

この時期の子どもたちは、前に進みたい気持ちと、立ち止まりたい気持ちの間で、小さな心を一生懸命に揺らしています。それは、「大きくなろう」としている証です。保護者の皆様には、ぜひ、そんな子どもたちの思いを「そうなんだね。」「ドキドキするよね。」と優しく受け止めていただけたらと思います。そっと抱きしめること、話を聞くこと、笑顔で見守ること、その一つ一つが子どもたちの大きな力になっていきます。

私たち職員も、子どもたちの心に寄り添いながら、安心して次の一步を踏み出せるよう、精一杯支えてまいりました。振り返ると、笑ったり、泣いたり、怒ったり、悩んだりしながら過ごした日々は、どれもかけがえのない宝物です。その一つ一つが、今の子どもたちの姿につながっています。

この1年、温かく園を支えてくださった保護者の皆様へ、心より感謝申し上げます。皆様と共に子どもたちの成長を見守ることができたことを職員一同誇りに思っております。

これからも、子どもたち一人ひとりが自分らしく安心して歩んでいけるように「おおきくなるって嬉しいことなんだ」と思えるように、私たちはこれからも子どもたちに寄り添い続けていきます。

☆子どもたちの様子と今月のねらい・おすすめ絵本☆

3 歳児らっこ組

♡子どもたちの様子♡

子ども会の取り組みの中で、動物になりきったり、お話の中の簡単なやり取りを楽しんだりするようになってきました。当日は、ドキドキしたり、嬉しかったりしながら、おうちの人に見てもらったこと、たくさん褒めてもらったことにうれしさを感じたようでした。

時には、思いを上手く表せなかったり、思いがぶつかったりすることもあります。保育者が間に入りながら、自分の気持ちを相手に伝えようとする姿は増えてきました。

らっこ組での生活は残り 1 か月となりました。生活や遊びの中で「ぺんぎん組みたいになりたい」という気持ちと「もうすぐでぺんぎん組なんだ」というドキドキした気持ちがあるようです。どちらの気持ちも受け止めながら、「らっこ組楽しかった」と思えるように遊びや生活を支えていきたいです。

✿今月のねらい✿

○好きな遊びを十分に楽しむ中で、自分の思ったことや感じたことを言葉や動きで表そうとする。

○保育者や友達と一緒にすることを楽しみ、伸び伸びと動く。

○身の回りのことを自分でしようとしていたり、できるようになったことに嬉しさを感じたりする。

◆おすすめ絵本◆

『ピッキーとポッキー』 あらしやま こざぶろう：文 あんざい みずまる：絵／福音館書店

『はるのゆきだるま』 石鍋英佐子：作・絵／偕成社

4 歳児ぺんぎん組

♡子どもたちの様子♡

『こんなことやってみたい！』と楽しいことをたくさん考えて形にしたり、友達や保育者に思いを伝えたりしながら遊ぶことが楽しくなってきたぺんぎん組。いるか組のしていたことやぺんぎん組の友達のしている遊びに刺激を受け、再現することや自分の遊びに取り入れて遊ぶ等遊びの中でいろいろな経験をしています。『やってみたらできちゃった！』という喜びや自分に対する自信を感じるようになってきています。

また 1 月末から始まったいるか組との当番の引継ぎ活動や、お別れ会の準備を通して、少しずつ『もうすぐいるか組になる』ことを感じています。今月も、子どもたちが考えやことを遊びや活動に取り入れていくことで自分たちで生活を進めていく楽しさを感じ、一人ひとりが進級に向けて楽しみな気持ちや、大きくなった嬉しさ、自信を感じられるように支えていきます。

✿今月のねらい✿

○友達と互いに思いを伝えたり受け止めたりして一緒に遊ぶ楽しさを味わう。

○一年間使った保育室や遊具を整理し、進級を楽しみにする。

○年長組になる喜びや期待感をもち、遊びや生活に自分から進んで取り組む。

◆おすすめ絵本◆

『はるですはるのおおそうじ』 小出淡：作 小出保子・絵／福音館書店

『チリとチリリさくらのおはなし』 どいかや：作／アリス館

5 歳児いるか組

♡子どもたちの様子♡

コマ回しや運動遊びでは、自分のめあてに向かって、諦めずに粘り強く取り組むようになりました。取り組みの過程では、友達同士で励まし合ったり、コツを伝え合ったりするだけでなく、友達ができるようになったことを自分のように喜ぶ姿も見られます。友達の頑張りも良さとして感じられるようになっていきます。

杉並第二小学校 1 年生との交流や、年中ぺんぎん組への当番活動の引継ぎを通して、就学が近づいていることも感じています。自分たちが大きくなったことの自信や就学への期待感につながっているようです。

今月は、自分たちがやりたい遊びをしたり、学級の友達と一緒に過ごしたりする楽しさを十分に味わい、修了を迎えることができるように、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。就学に向けて心配なことがありましたら、いつでもお声がけください。保護者の方も安心して修了・就学に向かえることを願っています。

✿今月のねらい✿

○思いや考えを様々な方法で表現し、いろいろな活動に楽しんで取り組む。

○友達と共に過ごす喜びを味わい、自分たちで遊びや生活を進め、充実感を味わう。

○就学への喜びや期待感をもち、進んで行動しようとする。

◆おすすめ絵本◆

『みんなともだち』 中川ひろたか：作 村上康成：絵／童心社

『おおきくなったらきみはなんになる？』 藤本ともひこ：文 村上康成：絵／講談社